

第39回「グループホームたなお」運営推進会議議事録

日 時：令和5年9月16日（土）14：00～15：00

場 所：グループホームたなお

出席者：ご家族3名、小池市議会議員

1. 前回会議（7月15日分）からの運営状況について

1) 入退居について（9/15日現在）

- ・入退居者 : 入退居なし
- ・待機状況 : 待機者 15 名（男性 8 名、女性 7 名）
※前回会議より新規申し込み・キャンセル無し
- ・入居者数 : 18 名 夢の華 : 9 名（男性 1 名・女性 8 名）
希望の華 : 9 名（男性 1 名・女性 8 名）
70 代…0 名 80 代…9 名 90 代…8 名 100 歳以上…1 名
平均年齢 : 90.6 歳（80 歳～103 歳）
平均入居日数 : 1450.5 日（46 日～2,355 日）
介護度 : I…8 名 II…4 名 III…4 名 IV…1 名 V…1 名 平均介護度 : 2
- ・月間稼働率 : 7 月…94.8% 8 月 100%

2) 職員の異動について

- ・退職者 : 8 月希望ユニット正規職員 1 名
8 月夢ユニット非常勤職員 1 名
- ・休職者 : 1 名（希望ユニット正規職員 1 名）
- ・育 休 : 1 名正規職員
- ・派遣スタッフ : 夢ユニット : 夜勤専従 1 名、希望ユニット : 遅番専従 1 名、フルタイム 1 名

3) 事故・急変・医療連携等について

☆事故・ヒヤリハット（7/15 月～9/15 日分集計）

- ・ヒヤリハット : 転倒 3 件、薬のミス 2 件

計 5 件（前回比±0 件）

※普段歩行時付き添いが必要な方が、スタッフがリビングを離れた際、一人でキッチンまで 2～3 m 歩いていた。キッチンの流しに掴まって立っているのを発見した。

※居室でズボンをはこうとした際、ふらついて転倒しそうになる

※入浴時、浴槽から出て介助で立ち上がる際、しっかり立ち切れずシャワーキャリーに座り損ねそうになる

※内服介助後、他の職員が内服確認をした際、袋の中に錠剤が 2 錠残っているのを発見し、すぐに内服してもらった

※新しいスタッフが内服介助時、違う人の薬を介助しようとしていた。指導スタッフが気づき誤薬にはならなかった

- ・ 事故発生状況：転倒 6 件、離脱 1 件、誤飲 1 件、服薬ミス 9 件、

計 17 件（前回比+3 件）

※転倒は 6 件中 3 件居室内で起きている。うち 2 名は赤外線センサーにて対応しており
センサーが鳴ってすぐ訪室したが、既に居室内で倒れていた

※椅子から立ち上がろうとして、立ち上がり切れず椅子事転倒。スタッフが立ち上がった
ことに気づきすぐに駆け付けるが間に合わず

※ホーム内を歩いていて方向転換をしようとした際、バランスを崩し転倒

※リビングで他者の靴が脱げそうなを見つけ、しゃがんで履かせてあげようとしてくれ
その際、バランスを崩ししゃがんだ状態から後方へ転倒

※入浴時に貼り薬の交換がある方が 2 名おりその方に対して、入浴をされなかった日の
貼り忘れ事故が A 氏×2 件、B 氏×3 件（新しいスタッフ、当該ユニットが担当ではない
スタッフが夜勤の際に発生）

前日分をはがさず新しい貼り薬を貼ってしまった事故が 1 件

※薬のセットミスで 1 名分の朝食後薬が、翌日分がセットされていたが、確認が不十分で
そのまま内服介助してしまった（薬の中身は変わらない）

※翌日、翌々日分と薬がセットし、本来翌日分が上部に来るようにセット済みの容器を置く
のを、翌々日分が上部になっており、夜勤明けの朝食後薬を内服介助時確認が不十分で、次
の日の分の薬を内服介助してしまった。（薬の中身は変わらない）

※朝食後薬の落薬事故が 1 件

※他者のトイレ介助でスタッフがリビングを離れた際、キッチンの洗剤を口にしてしまう

※スタッフが他者介助中に、シルバーカーを押して外へ出て行き、20 分ほどして戻って来ら
れる。その時に一人で外に出かけていたことにスタッフが気づく。

※急変・医療連携等（7 月 15 日～9 月 15 日分）

- ・ 看護師コール対応：1 回（訪問看護師へ連絡し来訪対応）
- ・ 定期外受診：1 名 整形受診
- ・ 盛田歯科訪問診療：1 名
- ・ 訪問看護（笑福）：週 1 回、1 回緊急訪問あり（足の腫れがあり受診の可否判断）
- ・ 1 名個別で訪問看護と訪問リハビリ利用

4）身体拘束・虐待防止について

- ・ 身体拘束、虐待防止のガイドラインに設定されている事項については該当なし

5）イベント関係について（7 月 15 日～9 月 15 日分）

- ・ 来訪イベント：わんとほーむ（動物介在）、移動スーパーはじ丸
- ・ 個別外出：地蔵祭り

6) 新型コロナウイルス・インフルエンザ感染拡大防止対策

☆感染予防対策

- ・手指消毒の徹底、定期的な換気、次亜塩素酸水噴霧
- ・職員のマスクは状況に応じて（熱中症対策も考慮して）
- ・面会に関して現在制限なし、面会時面会者はマスク着用依頼
- ・LINEによるオンライン面会体制あり
- ・理容に関しては訪問理容を利用している。
- ・個別外出は密にならない屋外の場所のみ。
- ・買い物に関しては少しずつ状況を見ながら再開している

7) 研修参加状況（7月15日～9月15日分）

オンライン法定研修参加（7月～8月分）

- ・7月 ターミナルケア : 8割の職員が受講
- ・8月 事故発生又は再発防止 : 8割の職員が受講
- ・介護職員実務者研修 : 1名終了

実習受け入れ

- ・日本福祉大学：1段階実習受け入れ

8) 地域・行政との連携

- ・碧南市認知症初期集中支援チーム・チーム員会議出席
- ・碧南市介護保険運営協議会出席
- ・地域個別ケア会議出席
- ・オレンジファミリー碧参加

9) 認知症伴走型支援事業について

- ・7月相談対応件数 延べ13件
- ・8月相談対応件数 延べ9件

10) その他、意見交換

※前回、市内の他ホームの運営推進会議へ参加させてもらった際、9名定員のグループホームで、ご家族の参加が5名あった。どのようにご家族に参加を促しているか確認した際、郵送での依頼以外に、前日までに全家族に電話で確認をしているとの事、当グループホームも今回の運営推進会議より前日までにお電話で確認させて頂くこととする

- ・入居申し込みの電話は、どのようにくるのか？
→直接ご家族からの場合もあれば、CMからの紹介や病院などからの問い合わせも多い
- ・マスクはいつまで着用か？
→世間は自己判断になっているが、一応高齢者施設は継続してマスク着用を推奨されている
入居者については、現状マスクは外出時などの時のみ着用している。職員に関しては状況に応じて着用とし、強制はしていない（マスク着用にて介助する際、熱中症など体調不良への

考慮もある、またマスクをしたままの場合コミュニケーションが取りづらい面もある)
面会者には原則マスクの着用をお願いしている。

・ 看取りの際、主治医は？

→ホームの主治医としては長田医院となっているが、個々にさかべ医院や小林記念病院など主治医が違う方もいる。今までホームでの看取りは長田医院の先生が主治医の方で、夜間帯もホームに着ての対応を行ってくれている。その他の主治医の先生とは状況に応じて相談等していく。

・ コロナ禍でも外へ出での活動をしている為、今後も外部との交流を継続してほしい

・ 外出や制限のない面会もできるようになり、本人様、ご家族様も喜んでいると思います。私たちもイベント報告を楽しみにしております。インフルエンザにも気を付けながら少しずつ再開してください。

→すこしづつ状況を見ながらできる範囲で交流を再開していきたい

・ 異動が多かったからか、服薬ミスが多いように感じます。新しい人でも間違えずにできるような方法を考えていただけたらと思います。例えば、転倒転落に関してではありますが、施設の平面図に事故発生箇所をシールで貼っている事業所もありました。視覚に訴えてくるのでとても分かりやすかったです。利用者さんごとにシールの色を分けるなどすると、より事故防止に繋がるかと思います。

→服薬ミスに関しては、新しく入った職員や派遣スタッフなどへの情報共有が不十分な面も多々ある。情報共有の徹底と今まで以上の確認の仕組みをつくり実施している

次回：令和5年11月18日（土）14：00～